

## 賛成 不断の行政改革、未来を見据えた経営を

本予算は、丸山市長が就任されて初めて編成された当初予算です。市長が掲げる「みんなが喜びを持つ前向きなまち」というビジョンを、具体的な施策として示された強い決意の表れであると高く評価します。

また、物価高の厳しい局面にあっても、収支均衡を維持しつつ、財政の弾力性を確保し、市民へのサービスを停滞させない「責任ある予算」と言えます。

**第一に評価すべきは、「子どもを育み学びが広がるまち」への重点的な対応です。**

長年の課題であった保温食缶方式による「温かい中学校給食」の実現は、子どもたちや保護者に大きな喜びを届ける事業です。また、「小1の壁」打破に向けた取組や、未就園児世帯を支える「こども誰でも通園制度」の開始は、育児の孤立を防ぎ、仕事と子育ての両立を後押しするものです。この他にも、保育所・学童保育所の定員拡大、学校施設整備、移動教室・修学旅行の負担軽減、ブックスタート事業など、子どもの健やかな成長に光を当てる温かい施策の展

開を評価します。

**第二に、都市の活力を生み出す「成長の戦略」です。**「アニメのまち国分寺」の発信やショート動画の活用などのシティブロモーションは重要な取組です。こくベジまた、二次元コード付きカード型商品券事業の推進は、物価高の中、市民と地域経済への直接的な支援策として期待します。市民室内プールの今後の運営のあり方は最適な推進につながるよう求めます。

**第三に、福祉・健康施策の充実です。**

男性HPVワクチンの接種費用助成や補聴器購入費助成の新設は、予防医療と生活の質(QOL)向上の観点から極めて意義深いものです。この他にも、がん対策、障害者の移動支援や認知症施策推進に加え、避難行動要支援者の個別避難計画策定など、一人ひとりに寄り添うきめ細かな支援推進を求めます。

**第四に、安全・安心なまちづくりです。**

街頭防犯カメラの拡充や住まいの防犯用品補助事業などを高く評価します。この他にも、防災行政無線の更新、国分寺南口・西国分寺駅周辺



木島 たかし

### 公明党

(賛成3人)

久保 けいこ はぎの 英輔  
木島 たかし

整備、無電柱化など、都市基盤の着実な推進を求めます。また、緑地整備による潤いのある住環境の維持、リサイクルセンターの最適化など持続可能なまちづくりを。ぶんバスでは、高齢者の運転免許自主返納支援事業も含めた事業全体の中でのあり方など、検討を求めます。

**最後に、行政自らの変革です。**

生成AIの活用やBPR(業務改革)、窓口業務の一部民間委託により、効率化だけではなく、市民一人ひとりと向き合う「心の通った行政サービス」への転換を期待します。

市財政は今後も厳しさを一層増すことが予想されます。将来負担を意識した経営と不断の改革を継続し、変化を恐れず国分寺市の歴史を創る取組を強く要望します。

市職員一人ひとりが、この予算に込められた市民の期待を重く受け止め、全力を尽くされることを求め、本予算に賛成します。

## 賛成 変化する社会に対応し未来を共に描く市政を

■令和8年度予算は、市長公約の温かい中学校給食や補聴器助成などの新規事業や、休止中の市民室内プールの在り方を検討する基礎調査委託料を計上するなど迅速な対応が見られた。

■一般会計では収支均衡型の予算編成だが、全会計では基金残高はR7年度決算見込み額より7億円減の107億円。一方、市債未償還額は23億円増の381億円となり、市債発行は32億円。

■旧庁舎用地整備など大型事業が続く。市債の発行には、これまで以上に次世代への配慮を求める。金利の上昇など社会経済の変化を踏まえ、必要な事業と基金、市債残高の慎重な見極めを。

■予算審査の間にも世界では紛争が続き、多くの命が奪われている。地域から自ら考え行動できる平和事業の充実を。■7月から商品券事業が始まるが、世界情勢の影響でガソリンや石油製品が高騰している。今後さらに市民や事業者に影響が広がる場合には適切な追加支援を。

■これからの未来を描くまちづくりは、子どもや若い世代の想いや考えが十分に反映される市民参加を求める。公・民・学の幅広い主体と連

携し、市民とともに経済だけではなく価値を共有し、国分寺の魅力を発信する取組に期待する。

■住宅マスタープランやランドデザイン、都市計画マスタープランの策定は、少子高齢社会に向かう多様な暮らし方を踏まえ、市民合意を高めた実効性のある計画とするよう要望する。

■必要な人に適切な支援が届くよう庁内横断的連携や民間も含めた多職種連携は重要。縦割の支援から取りこぼされてきた市民を救う重層的支援体制では、多機関協働事業の基準額を国が減額。現場の声を反映した予算措置を働きかけ、支援の質が低下しない最大限の対応を。

■新たに整備する教育・公共施設では、複合化や多機能化、また、エレベーターを設置するなどユニバーサルデザインの視点で設計を。

■新教育系システムに8億円が計上された一方、消耗品費が削減され、日常的な教育への影響を懸念する。今後多くの分野でデジタル化は進むだろうが、市民サービスの向上と、人が担うべき業務のすみわけを行い、真に必要な経費なのか検証し取組むよう求める。■樹林地や公園



高瀬 かおる

### 国分寺・生活者ネットワーク

(賛成3人)

小坂 まさ代 松岡 まり  
高瀬 かおる

の樹木が、倒木の危険性から伐採されている。萌芽更新や植樹などにより、貴重な緑がこれ以上減らないよう計画的な取組を。■ひとり親家庭へのヘルパー派遣は、単価が国の上限基準額となる。ヘルパー確保や安定利用につながるよう周知を。■第五小学校の「放課後子どもプラン」運営実務を民間事業者へ委託。サポーターの確保策も含め、各校コーディネーターの意見を丁寧に伺い、本市らしい「放課後の子どもの居場所」確保を求める。■特別支援学級のスクールバスの増車は、家庭の支えとなるが、子どもたちの身体的・精神的負担を抑えるルートの最適化と柔軟な調整を求める。将来的には、バスに乗らなくても誰もが地域の学校で学べるインクルーシブな学校づくりを。

■世界情勢や自然災害にも適切に対応できる財政力を維持しつつ、市民ニーズを捉えた柔軟な市政運営を求め、賛成とする。

## 反対 ぶんバス利用者34%減見込 回復の取組みを

ぶんバスでは、利用者が11ヶ月で24%減少している。さらに新年度予算では、**値上げ前よりも35万人、34%も減少との予測**。これが本当に「想定範囲内」なのか。少なくとも早急にシルバーパスは適用するべき。また、値上げの際に当時の市長が施政方針で述べた「増収分は事業者

に再分配」の方針を投げ捨ててしまった。市民への約束を反故にせず、今年9月の決算時に事業者への再分配を求める。

市民課窓口業務委託では、委託によって**2,500万円の負担増**が見込まれ、さらに**市民サービス向上では現時点で「具体的に言えない」と答弁**。



中山 とう

### 無会派 (日本共産党国分寺市議団)

(反対1人)

中山 とう

アウトソーシング基本方針のサービス向上と経費削減に反している。個人情報を多く取扱うことから、窓口業務を委託することに反対。

## 賛成 財政構造の転換点！今後の手腕に一層期待！

◆前提：市は**財政構造の転換点**にある！  
○生産年齢人口はここから減少に転じる  
⇒主要財源の個人市民税が低下（**歳入は減少**）  
／高齢者への福祉サービス増加（**歳出は増加**）  
+公共施設の一斉更新が迫る（**歳出更に増加**）。  
◆課題：歳入は今後減少していく見込みだが、

歳出は増加が必須となる構造になっている。

◆評価：本予算は、なんとか収支均衡の財政を保つことができ、加えて**未来を見据えた施策**や子育て支援・教育・福祉等の必要なサービス維持と選択的拡充が図られている点を高く評価。

◆今後：「**現状維持は破滅である**」という市長



寺嶋 たけし

### 無会派 (日本維新の会)

(賛成1人)

寺嶋 たけし

の言葉がより重みを増してくる。本当に必要な事業は何か？を見極め、統合や縮小・選択と集中による**財政構造改革**を進めていただきたい。

## 姉妹都市マリオン市の副市長と議員懇談会を行いました

3月6日(金)に姉妹都市マリオン市の副市長(Jayne Hoffmann氏)が国分寺市議会を訪問されました。当日は予算特別委員会の傍聴をされ、その後には議員との懇談を行いました。

国際姉妹都市・オーストラリア マリオン市について  
国分寺市とマリオン市は、平成5年(1993年)に姉妹都市の盟約を結びました。

